

【教育目標】 ふるさと野矢を愛し、他者と協力し、既習内容を活用しながら課題解決に取り組むことができる「野矢っ子」を地域とともに育成する。

【重点目標】 ○基礎的・基本的な知識及び技能【知識及び技能の習得】 ○他者と協力して課題解決に取り組む力【思考力、表現力、判断力の育成】 ○主体的に取り組む力【学びに向かう力、人間性等の涵養】	評価(評価点)	基準	評価ランク
	4	達成	平均100%(評価点4.0以上)
	3	概ね達成	平均80%以上(評価点3.2以上)
	2	やや未達成	平均60%以上(評価点2.4以上)
	1	未達成	平均60%未満(評価点2.3以下)

重点目標	評価	達成指標	評価	重点的取組	取組指標	評価平均	評価	成果	課題	改善策(具体的取組)		
【知識及び技能の習得】 基礎的・基本的な知識及び技能	3	○1学期末の算数の単元テスト(思考力・判断力・表現力)において、期待平均値達成を75%以上  3学期 68%	4	○ドリルタイムにおいて、基礎基本の定着を図る。	○1週間に2回ドリルタイムの設定をする。うち1回は算数とする。	2.83	2	・期待平均値79.4%だったのでよい。 ・課題のやり直しや基礎的な力をつける問題集で学力の定着が図れた。特に漢字の習得に成果が見られた。 ・学習している内容や復習をプリント等で行うことで基礎基本の定着が図れた。	・学校行事や生活指導などで、週に2回設定できない週もあった。 ・内容によって時間がかかるものがあった。また、取り掛かりに時間のかかる児童がいる。 ・個人ごとの進み具合などの理由でプリントの用意が間に合わないことがあった。	・プリントの準備をしておき、児童の意欲を保てるようにする。 ・児童が自分たちで取り組むことができる習慣を身につけさせておくとよい。 ・個人差に応じた取り組み方を工夫する必要がある。		
				○家庭での生活習慣の確立	○家庭は、その日の宿題が最後まで完了しているか確認をする。			3.33	3	・保護者アンケートの結果が3.33だった。 ・その日の宿題が最後まで完了しているか確認してくれる家庭が多く、家庭学習の習慣がついている。 ・研修部の取り組み「親子で音読対決」を提案し、全家庭が取り組めた。	・児童によって、宿題忘れや最後まで完了していないことがあった。 ・宿題を持ってくるのを忘れることがあった。 ・研修部からの提案については、期間や取り組み方など見直すことも必要。	・前の日に明日必要なものが入っているか確認するよう指導していく。 ・学級通信やPTAの懇談で、宿題のチェックや連絡帳のサインの協力を保護者をお願いする。
【思考力、判断力、表現力の育成】 他者と協力して課題解決に取り組む力	3	○児童アンケート「友だちと協力し、課題に最後まであきらめずに取り組んだ」において、平均を3.5以上  全校 3.5	3	○考え、伝え合う中で課題解決力を培う学習の推進	○授業者は、児童に自分の考えを整理させたうえで、グループや全体での話し合い活動の場を1日1回以上設定する。	2.83	2	・児童アンケートの結果3.48だった。 ・国語、算数、道徳等を中心にペアやグループの話し合い活動の場を毎日設定できた。 ・児童が自然と意見交換をする雰囲気があり、話し合い活動に積極的に参加する姿が見られた。	・自分の考えを伝えるだけになってしまう児童がいる。 ・相手意識をもった説明の仕方が難しい。 ・話し合う活動の中で徐々に課題から逸れて考えていく児童がいた。	・互見授業に取り組む。 ・児童に何を考えさせるか明確にしてい ・説明をしながら相手に反応を求めるなど、具体的な方法を考えながら取り組む。 ・自分の考えを伝えようとして友だちの考えと比べながら聞くことを指導する。		
				○親子の会話の充実	○家庭はその日の出来事について子どもと毎日話し、ほめる。			3.83	3	・保護者アンケートの結果が3.33だった。 ・おうちの方々の雰囲気の良い、また子どもたちの姿から充実していると思われる。 ・児童が話している様子から、よく会話しているものと思われる。		
				○体験学習のゲストティーチャーとしての学習支援	○地域の方は、学校からの要請に基づいて、ゲストティーチャーとして各学年2回以上協力をする。			3.83	3	・どの学年もゲストティーチャーに来てもらっていた。 ・命の授業や環境教育でお招きすることができ、学習を深めることができた。 ・園工や俳句、畑の学習でたくさんの方に来ていただいた。		・行事等を前もって把握し、計画的に呼ぶようにする。
【学びに向かう力、人間性等の涵養】 主体的に取り組む力の涵養	3	○算数において進んで授業に取り組む児童の割合60%以上 2年 51% 3年 47% 4年 53% 5年 73% 6年 48%  ○家庭生活で決められた役割を果たす児童の割合60%以上(新規)  ○積極的に学校行事に参加する地域の方の人数1つの行事10人以上(新規)	3	○生活に結びつくような身近な課題設定について工夫する。	○月に1回、課題設定について研修を実施する。	2.17	2	・子どもの興味関心を引く課題を提示するよう心掛けてきた。 ・算数科において、子どもが追求したくなる課題を単元に1回以上設定することができた。 ・忙しい中、研究授業を1本できたのでよかった。	・月に1回の校内研修の設定はなく、個人研修に留まってしまった。 ・課題設定についての研修を実施することができなかった。 ・課題の交流にあまり取り組めなかった。	・校内研修に位置付ける。 ・身近な課題を設定し、児童が考えやすいもので行っていく。 ・個人での学びを全体に還元する場を設ける。		
				○家庭でのお手伝いの推進	○家庭で決められた役割を自ら取り組めたか確認する。			2.67	2	・保体部を中心に、家庭でのお手伝いを推進している。 ・夏休みの取り組みとして提案できたので良かった。	・保護者アンケートの結果が2.78なので、あまりできていない。 ・少しはおうちでお手伝いをしているということは聞けたが、声掛けはあまりできていない。	・職員会議の議題にし、より具体的なはたらきかけをしていく。 ・児童との交流をもっと増やしていく。
				○各種行事への参加・参観	○地域の方は、各種行事に参加・参観を行い、児童の様子について感想用紙に記述する。							